

シンポジウム

沖縄に国立自然史博物館を！

～次世代の博物館像を求めて～

平成27年11月14日(土)
15:00～18:30(受付14:30～)
沖縄県立博物館・美術館講堂

(事前申し込みの場合、実行委員会事務局に連絡下さい)

プログラム

15:00～15:10 開会挨拶 大城 肇(琉球大学・学長)
15:10～15:20 趣旨説明 西田 睦(琉球大学・理事・副学長)

第一部

15:20～17:00 講演 沖縄に造る新しい博物館像について語り合おう！

太田英利(兵庫県立大学自然・環境科学研究所・教授)

是非とも沖縄にあって欲しい「生物多様性の科学」の拠点としての自然史博物館: 一利用者の視点から

瀬能 宏(神奈川県立生命の星・地球博物館・企画普及課長)

博物館における市民参加型データベースの構築とその成果

斎藤成也(国立遺伝学研究所・教授)

ハクブツカンよ、人類文明の根幹たれ

下村政嗣(千歳科学技術大学・教授)

バイオメティクスの宝庫としての自然史博物館

杉尾幸司(琉球大学教育学部・教授)

学校教育と自然史博物館が連携した教育活動の可能性 沖縄の自然環境を活用した理数系人材育成～

17:00～17:10 休憩

第二部

17:10～18:20 パネルディスカッション

司会 西田 睦(琉球大学・理事・副学長)

5人の演者のみなさん

大城 肇(琉球大学・学長)、西田治文(中央大学理学部・教授)、

尾池和夫(京都造形芸術大学・学長)、林 良博(国立科学博物館・館長)、

古謝 隆(沖縄県・環境企画統括監)、高原 安伸(沖縄県・観光政策統括監)

18:20～18:30 閉会挨拶 馬渡駿介(北海道大学名誉教授)

主催: シンポジウム「沖縄に国立自然史博物館を！」実行委員会、日本学術会議動物科学分科会・自然史財の保護と活用分科会・自然史・古生物学分科会・進化学分科会

共催: 琉球大学、沖縄科学技術大学院大学、沖縄美ら島財団、沖縄生物学会

後援: 沖縄県、平成26～28年度科学研究費補助金基盤(B)「自然史財の総合的研究」(研究代表者: 馬渡駿介)

問い合わせ先

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

シンポジウム「沖縄に国立自然史博物館を！」実行委員会事務局

電話: 098-895-8993 E-mail: takemura@sci.u-ryukyu.ac.jp

ユニークな地史を有する琉球列島は生物多様性のホットスポットです。この地の自然のすばらしさを研究し世界にアピールする拠点、すなわち国立自然史博物館が必要です。昨年12月に沖縄に国立自然史博物館の設立を目指して第一回目のシンポジウムを開催しました。前回のシンポジウムでは、多くの方々に沖縄への国立自然史博物館の設立を期待した夢を大いに語っていただきました。2回目となる今回のシンポジウムでは、既存の博物館を超える次世代の自然史博物館とはどのようなものなのかについて、沖縄に造るべき国立自然史博物館の姿を見据えつつ様々な視点から論じてみようと考えています。

